

テナを切り離して関西へ「帰る」車両にコンテナを引き渡す。自車両は関西から来た車両がけん引してきたコンテナを引き継ぎ、関東へ戻る。

この中継輸送の仕組みにより、ドライバーは1日で出発拠点へ戻り、そのまま帰宅することもできることから、業務負荷の軽減が見込まれる。今回の中継輸送は富士運輸（奈良市）の車両を用いて行う。

※編集部註

（2月26日7時30分）記事本文を一部修正しました。

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>
URL to article : <http://www.logi-today.com/336444>
Copyright © 2019 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.